

石狩地区 新規就農者紹介



〈須郷さんご夫妻〉

【就農のきっかけ】

就農前は肥料会社に勤めていました。以前から農業には興味があり、新規就農した兄の農場を訪問し、兄の働く姿を見る中で、自分も農業をやってみたいという気持ちが高揚しました。

【工夫している点】

計画的な農業経営を意識しており、「今日やっておかねばならない」と判断したことは必ずその日のうちに実施するよう心がけています。

【活用した事業等】

農林水産省『就農準備資金・経営開始資金』

2026年7月取材

須郷 由秀さん、みきほさん

(江別市)

就農年:2020年

経営形態:露地・施設栽培

作物:ブロッコリー(約3ha)、長ねぎ(約1ha)

労働力:夫婦のほかパート従業員

出荷先:所属JA

【ブロッコリーの露地栽培】



【長ねぎのハウス栽培】



【就農して良かったこと・苦労したこと】

大好きな農業に取り組む中、常に農業のことを考え充実した日々を送れることが就農して良かった点です。特に良い作物ができた時には大きなやりがいを感じます。

一方で、機械の選定にはとても苦労しました。実際に使用したことのない状態で購入を決めなければならず、使ってみると「もっと別の機械の方がよかった」「もっと大きい規格の方がよかった」と感じることがありました。また、施肥管理から病害虫防除まで栽培に関わる全ての作業を自己責任で判断・実施しなければいけない点にも苦労しました。特にブロッコリーの栽培では、降雨前に適切な病害防除を行わなかったことで腐敗が発生し、収量が大幅に減少したという経験があります。この経験を通じて適期防除の重要性を実感しました。

【地域との関わり合いの重要性】

地域に農家が少ないため、関わる機会が多いわけではないのですが、草刈りなどの共同作業の際に交流を図っています。このような交流を通し、助け合える関係性を構築できたと感じています。また、フォークリフトなど自分の農場にない機械が必要な際には、近隣の農家にお問い合わせすると快く対応してもらえるなど、地域の協力関係が実際の営農に役立っていると感じています。



【機械の説明をする須郷さん】



【長ねぎ収穫機】



【ロータリー】



【トラクター】

【今後の展望】

長ねぎの作付を増加させたいとの思いもありますが、まずは現在の農地をしっかりと管理・活用することを優先したいです。

今後も地域の離農者が増えることが見込まれるため、自分が農地の受け皿となれるよう努めたいです。そのために、麦や大豆などの土地利用型作物の導入も考えていきたいです。

【サポート体制について】

技術的な面については、普及センターの担当者に相談したり、地域の先輩農家から教えてもらったりしています。

【出荷作業をする奥様】



【ハウスの様子】



【長ねぎの出荷作業】



【長ねぎの根切り機】



【就農を目指している方へのアドバイス】

就農前にできる限り資金を蓄えておくことが大切だと思います。自分自身就農前に資金を準備し、補助金等も活用していました。

また、「何年後にどのような経営をしているか」という明確なビジョンを持って就農することが大切だと思います。漠然と農家になるのではなく、具体的な将来像を描いた上で、経営改善や生産性向上に向けた努力を継続することが重要だと思います。

良い作物を作ることが収入に直結するため、栽培技術の向上に継続的に努めることが重要だと思います。